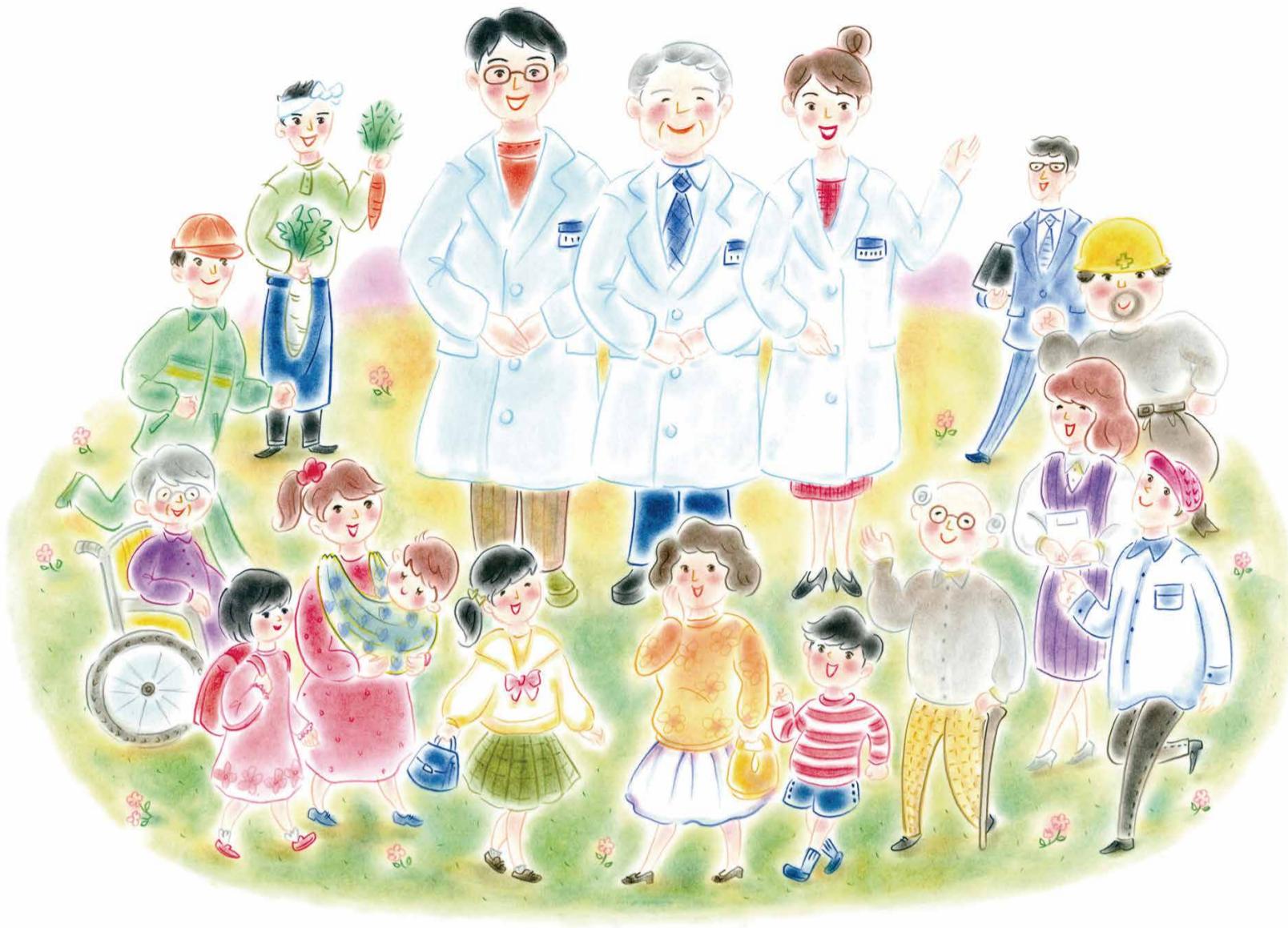


My Favorite Life Style



ご存じですか? 「かかりつけ薬剤師」という頼もしい味方。

Biz Life Style Pick up >>>

「かかりつけ薬剤師」とは



「処方箋がないと相談しにくい」という印象をお持ちの方も、話かけてみると「むしろ相談やすい」ことが分かるはずだ。



市販薬の相談から在宅医療のサポートまで、守備範囲が非常に広いのが特徴。地域の医療機関と深く連携しており、処方薬を飲み始めた後の様子を処方医にフィードバックするなど、見えないところでも大活躍してくれる。

薬剤師の仕事は、ただ薬を調剤しているというイメージがあるのではなく、実は処方全体の内容を確認するのも薬剤師の仕事で、さらには服薬の際、注意すべきことの指導を担うなど、皆さんがあなたに薬剤師の仕事は非常に多いと見えるが、薬の専門家たちの現場は、私たちの想像以上に多様な業務を行っているのだ。

飲み合わせがよくない薬はないか、飲み残しや重複がないか、副作用などの心配はないか。薬を選ぶ際に専門家の視点によるチェックや適切なアドバイスをもらえるだけでなく、外出が難しい在宅療養の方には薬剤師が訪問して相談を行っている。どうことは、

病院や診療所で受け取った処方箋を持参し、調剤された薬をもらう。あるいは、市販薬を買う際、どれを選べばよいか分からぬ時に相談する薬局と言えば、このどちらかで訪れる場所という認識の方が多いのでは? 薬の専門家である薬剤師がいることはご存じだろうが、実はそれだけではない。

意外に知らない 薬局・薬剤師の本当の姿

「薬を買う受取る」だけでは、こうした薬剤師や薬局の業務に触れる機会が少ないかもしれません。だが、その分、れば知るほど心強い存在であることに、きっと驚くはずだ。健康に気がつく人が増えている中、何かと頼りになる薬剤師の力をもつと活用したい。どうわけで、いま、薬局を取り巻く環境が変わりつつある。

医療機関で処方箋を受け取ったら、その近くの薬局を利用するケースが少なくない。だが、薬剤師は地域の医療機関と連携し、必要に応じて医師への問い合わせや提案を行っている。どうことは、

薬に関するサポートもしてくれる。

また、あまり知らない人が、24時間体制で電話相談を受け付けている薬局もあり、緊急時や夜間・休日など「閉まつているだろうな」という時間帯でも対応してくれ相談にも応えてくれる薬局は気軽に利用できる場所なのだ。

「

いつも決まった薬局を継続的に利用すれば、自分の服薬情報を二元管理してもうえるわけだ。

そこで、患者が「かかりつけ薬剤師」を持つとうとい取り組みがスタート。日常的に接する薬剤師を決めておけば、日々の対話次第で家族にも分からぬ小さな身体の変化に気付いてもらえることにもなるだろう。

薬剤師も積極的に、日々の食生活の改善サポートから介護の相談、さらには地域との交流強化に取り組んでいる。たとえば糖尿病に関して正しく理解するための健康教室や、筋力が弱った方への体操教室などを開く薬局もすでに登場していると

かかりつけ医と連携し、健 康サポートを行う「かかりつけ薬剤師」。公益社団法人日本薬剤師会では、「かかりつけ薬剤師・薬局」を詳しく紹介する特設サイトをオープンしたので、ぜひ下記アドレスからアクセスを。薬のことはもちろん、病気を防ぐための生活習慣に関するアドバイスなど、健康に関する相談にも応じてくれる薬局は、今後、さらに身近な存在となることだろう。

Biz Life Style Pick up >>> 2分半で「かかりつけ薬剤師」が分かる動画も配信中! まずはWEBサイトで。

日薬 かかりつけ

www.nichiyaku.or.jp/kakaritsuke/



右のURLからアクセスできる
かかりつけ薬剤師・薬局特設サイトのオリジナルキャラクター、
薬剤師の妖精「ファーミー」。
薬や健康のことなら何でも知っている心強い味方。
かかりつけ薬剤師の特設サイトでは、
控えめながらナビゲーターを務めている。



公益社団法人
日本薬剤師会
Japan Pharmaceutical Association

東京都新宿区四谷3-3-1 四谷安田ビル 7F
www.nichiyaku.or.jp/